

再発防止策の進捗状況

<BK> 業務改善計画/主要な再発防止策				2022年									継続	追加
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
I. 多様な障害対応力の向上														
1) システムにかかる改善対応策														
1. システム障害を予防するための点検・対応														
(1) アプリケーションの点検	A. 未稼働分サービスの再精査と追加確認計画の策定	①未稼働分サービスの再精査についての追加確認計画の策定	済											
	B. 重大障害につながるエラーの波及影響と対策の実施	②未稼働サービスの追加確認テストの実施・顧客部門との結果共有	済											
		③MINORが通常運行から外れた際の挙動の確認とシステム対応	(ア) 重大エラー発生時のMINORの動作確認とシステム対応計画の策定 (イ) 重大エラー発生時のMINORの動作確認の結果に基づくシステム対応	済										
C. 安定稼働に必要なメンテナンス内容の点検	①MINORの安定稼働に必要な維持・メンテナンス内容の点検 ②システム仕様・リスク懸念事象の発生状況の点検・確認 ③並行で処理される複数の処理のうち1つから応答がない場合の他処理への影響に関する類似点検	済 済 済												
A. ファームウェアに係る対応・点検	B. 保守期限内に更改すべき機器の明確化・保守期限超過有無の点検	①3月12日障害の原因となったディスク装置への対応	済											
		②ファームウェアに関する類似点検	済											
		③保守期限内に更改すべき機器の明確化と適用対象の拡大	(ア) 保守期限内に更改すべき機器の明確化 (イ) 保守期限内に更改すべき機器の適用対象の拡大	済 済										
B. 保守期限超過有無の点検とその結果を踏まえたシステム対応方針の策定	C. 製品バグ情報等管理すべき事項と管理方法の明確化	②保守期限超過有無の点検結果を踏まえたシステム対応方針の策定	(ア) 保守期限超過有無の点検 (イ) 保守期限超過有無の点検結果を踏まえたシステム対応方針の策定	済 済										
		③保守期限超過有無点検の点検範囲拡大	済											
		④機器更改の検討が実施される仕組みの構築	済											
D. 予兆管理・予防保守対応の強化	E. システム自体の適切な稼働の確保	①バグ情報等の管理に係る規程の明確化	済											
		②バグ情報等の分析対応の実施	済											
		③ハードウェア機器の管理強化に向けた定期点検の実施	済											
②重要機器における予防保守の実施	③重要機器における予防保守に向けたディスク装置の点検の実施	②重要機器における予防保守の実施	済											
		③重要機器における予防保守に向けたディスク装置の点検の実施	(ア) 先行システムの重要機器における予防保守に向けたディスク装置の点検の実施 (イ) 追加の重要機器における予防保守に向けたディスク装置の点検の計画策定 (ウ) 重要機器における予防保守に向けたディスク装置の点検の規程化	済 済 済										
		④アダプター機器の予防保守交換の検討	済											
④インフラ基盤が要件どおり動作することの点検	⑤システム自体の適切な稼働の確保	④インフラ基盤が要件どおり動作することの点検	(ア) 「インフラ基盤が要件どおり動作することの点検」の先行システムにおける実施 (イ) 「インフラ基盤が要件どおり動作することの点検」の計画策定 (ウ) 「インフラ基盤が要件どおり動作することの点検」に係る規程化	済 済 済										
		⑤システム自体の適切な稼働の確保	済											
		⑥インフラ基盤が要件どおり動作することの点検	済											
A. 開発工程に関する規程・手続書・チェックリスト等の整備	B. リリースに関する規程・手続書・チェックリスト等の整備	①オンサイトでの稼働状況確認の明確化	済											
		②最大リスクを想定した立会い体制の明確化	済											
③リリース実施可否判断時の確認・検証事項の明確化	A. ATM媒体取込仕様の改修	③リリース実施可否判断時の確認・検証事項の明確化	済											
		B. MQへの修正/バックアップの適用	済											
2. システム障害発生時の対応力強化														
(1) 監視システムの改善	A. 開発部門における影響把握の実効性向上 B. 運用部門における監視の迅速性・正確性向上	①システムエラー検知メッセージの出力・警告方法の見直し	(ア) MINOR監視システムにおけるシステムエラー検知メッセージの出力・警告方法の見直し	済										
		②システムエラー報告基準見直し	(ア) システムエラー報告基準見直し・システム対応 (イ) システムエラー報告基準見直し範囲の拡大	済 済										
		③システムエラー報告基準の妥当性に係る定期的な確認についての規程化	済											
D. ネットワーク機器に対する監視の導入 E. ガッシュボード等障害対応状況確認ツールの高度化	A. 複数システムを跨る横断的な障害シナリオの策定 B. 事務処理時間等を意識した新旧マニュアルの改善 C. SCPの実効性を向上する取組みの実施 D. SCPに関する教育・啓蒙の強化 E. SCP関連ドキュメント類を活用するためのツール化	④ネットワーク経路の状況把握の早期化	済											
		⑤システムの実効性を向上する取組みの実施	済											
		⑥SCPに関する教育・啓蒙の強化	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	①システムの関連性（依存関係）を踏まえたSCP横断シナリオの追加	済											
		②「技術アドバイザ」の役割機能の見直しおよび運営の定着化	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	③システム所管部における原因分析力の強化	済											
		④「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑤システム所管部における原因分析力の強化	済											
		⑥「技術アドバイザ」の役割機能の見直しおよび運営の定着化	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑦「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑧開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑨「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑩開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑪「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑫開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑬「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑭開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑮「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑯開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑰「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑱開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑲「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		⑳開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	⑳「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉑開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉒「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉓開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉔「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉕開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉖「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉗開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉘「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉙開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉚「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉛開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉜「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉝開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㉞「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㉟開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊱「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊲開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊳「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊴開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊵「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊶開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊷「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊸開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊹「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊺開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊻「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊼開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊽「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊾開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											
A. 実機を使用した実践型訓練の実施 B. 実戦型訓練に関する年次PDCA運営の確立	A. 障害情報の収集範囲および障害分析の切り口拡充	㊿「IT基盤・プロジェクト統括部」の新設	済											
		㊿開発会社・運用会社や外部ベンダーとの委託関係、管理態勢の再点検	済											

再発防止策の進捗状況

<BK> 業務改善計画/主要な再発防止策			2022年									継続	追加	
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
3. 内部管理態勢の強化														
(1) システムリスク管理態勢の高度化	A.IT・システム企画部システムリスク管理室	①IT戦略推進委員会の見直し・高度化	済									運営開始済	●	
	B. リスク統括部	①IT戦略推進委員会・オペレーションリスク管理委員会・監査等委員会および取締役会での報告	済									運営開始済	●	
	A. 外為法令等及び関連する行内ルールに対する役職員の知識・意識の徹底した向上	①外為法令等及び関連する行内ルールに対する役職員の知識・意識の徹底した向上	済									運営開始済	●	
		②AML/CFTに関するフィロソフィの明定と、その徹底を通じた、AML/CFTの重要性を本質的に理解するための全役職員向け研修											下期	●
	B. 緊急時においても、法令諸規則を遵守した適切な検討・判断が行われる仕組みの構築	①緊急時においても、法令諸規則を遵守した適切な検討・判断が行われる仕組みの構築	済									運営開始済	●	
	C. 外為法令を含むAML・CFT等業務の安定的な運営を確保する取り組み	①システム面の見直し	済											
		②AML・CFT等業務にかかるBCPの拡充・体制整備	済											
		③海外拠点におけるBCPの拡充・体制整備	済											
	D. 適切なリスク認識・評価が行われる仕組みの構築	①IT部門とユーザー部門間の定期的なコミュニケーションの実施	済											
		②AML業務の安定運営に資する情報交換・共有の枠組構築	済											
(2) 法令遵守態勢の整備	E. 法令諸規則の見直しにも適切に対応し得る統制・牽制機能の強化	①法令諸規則の見直しにも適切に対応し得る統制・牽制機能の強化	済											
		②事務企画部及びコンプライアンス推進部による、外為法令以外の点検	済											
		③外為事務部における部内ルール管理強化と自店検査運営の強化（「マネロン・ハイリスク国包括承認先」に関する管理手続明確化等）	済											
		④外為事務部における部内ルール管理強化と自店検査運営の強化（確認義務履行の重要性の徹底等）	済											
		⑤事企及びコ推による営業部店・本部部署（事務専担部）に対するモニタリング（自店処理対応等）	済											
		⑥外為事務部における部内ルール管理強化と自店検査運営の強化（ワークスルーによる再点検）	済											
	F. 改善・再発防止策の着実・継続的な実行を支える「組織・人材」「経営の関与」の強化	①枠組構築	済											
		②法令違反懸念事象発生時における初動・有事における対応力を強化	済											
	G. 本事業の教訓を踏まえた、法令遵守態勢全般の更なる強化に向けた対応策	①定期的かつ継続的に実施中の全行的なコンプライアンス研修の高度化	済											
		②法令諸規則の定期的な自己点検に関する実効性の強化	済											
	③経営陣からの発信（継続的な発信）	済												
(3) 内部監査態勢の強化	A.IT監査態勢の拡充	①IT監査態勢の拡充	済											
	B. リスクベース監査の実効性向上に資する枠組みの整備・構築	①リスクベース監査の実効性向上に資する枠組みの整備・構築	済											
4. 監督機能の更なる発揮														
(1) 取締役会・監査等委員会等の機能発揮	A. 多面的な情報収集力の強化		済											
	B. エンティティの役割を踏まえた専門性の充実		済											
	C. 経営陣に対するフォローアップ等の強化		済											
Ⅲ. 異田を踏まえた人と組織の持続的強化														
1. システムリスク管理・対応態勢の高度化														
(1) 専門人材の活用と成長の促進	A. 広い視野を持つ専門人材の活用	①関連部門横断的なキャリア開発を進める枠組みの導入	済											
		②組織マネジメントを担う階層においても必要に応じて外部人材を採用【継続実施中】	済											
2. お客さま影響に対する感度の向上														
(1) お客さまの声、営業現場の声を継続的に取り入れるための枠組みの構築		項目I.ii) . 1. ご参照												
	(2) お客さま・決済影響を軸とした態勢整備	項目I.ii) . 2. ご参照												
	(3) 危機管理態勢の強化	項目I.ii) . 3. ご参照												
3. ガバナンス機能強化に向けたプロセス高度化														
4. 企業風土の変革														
(1) お客さま・社会に一層向き合う組織となるための業務スタイル		①経営主導による内部業務見直し	(ア) 内部会議の抜本的な簡素化・削減	済										
		(イ) 役員間コミュニケーションの一層の活性化【継続実施中】	済											
		(ウ) 現場・本部における業務の廃止・簡素化	済											
(2) 働きやすい・働きがいのある職場づくりを実現する双方向コミュニケーション		①社員と経営の対話	(ア) 社員との対話型座談会の積極的な実施【継続実施中】	済										
		(イ) 経営へのダイレクトな意見投稿の枠組み設置	済											
		②現場・本部のコミュニケーション	(ア) 営業部店コミュニケーション・本部チャーター制度の導入【済】	済										
		(イ) 同様制度の対象店拡大	済											
		(ウ) 社員バブコメ制度による現場の施策検討プロセス参画【継続実施中】	済											
		(エ) 本部コミュニケーションへの営業部店アンケート	済											
(3) 法令遵守のもとでの主体的行動を後押しする枠組み・環境		③インフラ・環境整備を通じたコミュニケーションの促進	(ア) デジタルデバイスの配布	済										
		(イ) 日常的なトップメッセージ発信等も可能な社内SNSの導入	済											
		④法令遵守を前提とした、プリンシプルベースの任せる業務運営	(ア) 権限委譲と適切な執行、リスクも適切にみる業務運営	済										
	(イ) 積極的対話を通じた一人ひとりのリーダーシップ開発・人材育成【継続実施中】	済												
(4) (みずほ)の価値観の共有		②人材への取組み	(ア) 各職場での良好・インクルーシブな社員間の相互関係構築への取組み	済										
		①トップによるわかりやすい言葉での継続的発信	済											
(5) 客観的情報に基づくフォロー		②定期的・継続的なシステム障害の語り継ぎ		済										
		④社員エンゲージメント等の定量的情報も含めた社内・社外への開示	済											

